



## 平成24年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年2月9日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社アーレステイ

コード番号 5852 URL <http://www.ahresty.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 高橋 新

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長

(氏名) 古屋 茂

TEL 03-5332-6001

四半期報告書提出予定日 平成24年2月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成24年3月期第3四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第3四半期	74,940	0.6	109	△96.9	△280	—	△2,205	—
23年3月期第3四半期	74,512	41.1	3,558	—	3,311	—	1,366	—

(注) 包括利益 24年3月期第3四半期 △4,067百万円 (—%) 23年3月期第3四半期 △390百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第3四半期	△102.32	—
23年3月期第3四半期	63.42	63.19

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第3四半期	98,187	30,237	30.7
23年3月期	93,799	34,407	36.6

(参考) 自己資本 24年3月期第3四半期 30,169百万円 23年3月期 34,326百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	6.00	—	6.00	12.00
24年3月期	—	3.00	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

平成24年3月期の期末及び合計の配当予想額は未定です。

### 3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	103,000	4.0	900	△76.1	550	△84.5	△1,450	—	△67.26

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

#### 4. その他

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有  
新規 1社 (社名) 阿雷斯提精密模具(広州)有限公司、除外 1社 (社名)

(注)詳細は、添付資料P. 3「2. サマリー情報(その他)」に関する事項(1)当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動」をご覧ください。

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
② ①以外の会計方針の変更 : 無  
③ 会計上の見積りの変更 : 無  
④ 修正再表示 : 無

- (4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

24年3月期3Q	21,778,220 株	23年3月期	21,778,220 株
----------	--------------	--------	--------------

- ② 期末自己株式数

24年3月期3Q	213,765 株	23年3月期	238,709 株
----------	-----------	--------	-----------

- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年3月期3Q	21,556,216 株	23年3月期3Q	21,539,897 株
----------	--------------	----------	--------------

#### ※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中でありませぬ。

#### ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、[添付資料]P. 3「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	3
2. サマリー情報（その他）に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	7
(3) 継続企業の前提に関する注記 .....	8
(4) セグメント情報等 .....	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の影響により依然として厳しい状況にあるなかで、各種政策効果などを背景に景気は緩やかに持ち直しています。ただし、電力供給の制約や原子力災害の影響に加え、欧州の政府債務危機などを背景とした海外景気の下振れや為替レート・株価の変動等による景気悪化懸念があります。

海外においては、米国では弱い景気回復になっており、景気の下振れリスクがあります。中国では、景気は内需を中心に拡大しています。インドでは、景気の拡大テンポは鈍化しています。

このような環境の中で、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高74,940百万円（前年同四半期比0.6%増）、営業利益109百万円（前年同四半期比96.9%減）、経常損失280百万円（前年同四半期は経常利益3,311百万円）、製品不具合に伴う費用の発生が見込まれることから製品保証費用を計上したことに加え、タイにおける洪水の影響により災害による損失を計上したこと等により、四半期純損失2,205百万円（前年同四半期は四半期純利益1,366百万円）と増収減益となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

#### ① ダイカスト事業 日本

国内では、主要顧客である自動車メーカーにおいて、東日本大震災及びタイの洪水による影響により、生産が減少しました。当社においても、それらの影響を受けて受注が減少したことにより、売上高は47,759百万円（前年同四半期比5.3%減）となりました。収益面においては、受注の減少による影響等により、セグメント利益は898百万円（前年同四半期比50.9%減）となりました。

#### ② ダイカスト事業 北米

北米では、東日本大震災の影響で減少した主要顧客からの受注も上期後半より回復し、メキシコでの受注も拡大したことから、売上高は12,955百万円（前年同四半期比10.5%増）となりました。収益面においては、メキシコでの受注増への対応の遅れを挽回するための費用が発生したこと等により、セグメント損失は296百万円（前年同四半期はセグメント利益1,124百万円）となりました。

#### ③ ダイカスト事業 アジア

中国では、一時的に東日本大震災の影響により受注が減少したものの、夏季以降は高水準で推移しました。インドでは、新規製品の立ち上がりにより受注が拡大し、アジアでの売上高は9,723百万円（前年同四半期比19.5%増）となりました。収益面においては、中国での東日本大震災の影響、育成過程にあるインドの影響等により、セグメント損失は530百万円（前年同四半期はセグメント利益539百万円）となりました。

#### ④ アルミニウム事業

アルミニウム事業においては、二次合金地金の出荷量が前年同四半期比で2.7%増となったことにより、売上高は2,877百万円（前年同四半期比6.9%増）となりました。収益面においては、原価低減活動を図ったものの原材料価格の上昇等により、セグメント損失は18百万円（前年同四半期はセグメント利益3百万円）となりました。

#### ⑤ 完成品事業

完成品事業においては、主要販売先である半導体関連企業の新築・リニューアル物件の受注や通信会社のデータセンター向け物件等の受注により、売上高は1,624百万円（前年同四半期比5.3%増）となりました。収益面においては、価格競争の激化により、セグメント利益は38百万円（前年同四半期比46.3%減）となりました。

### (2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末における資産は、前連結会計年度末に比べ4,388百万円増加して98,187百万円となりました。主な要因は、有形固定資産の増加5,002百万円であります。

当第3四半期連結会計期間末における負債は、前連結会計年度末に比べ8,558百万円増加して67,950百万円となりました。主な要因は、製品保証引当金の増加1,513百万円、借入金の増加5,571百万円であります。

当第3四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末に比べ4,170百万円減少して30,237百万円となりました。主な要因は、四半期純損失2,205百万円、為替換算調整勘定の減少1,341百万円であります。以上の結果、自己資本比率は前連結会計年度末36.6%から30.7%となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成24年3月期の業績予想につきましては、東日本大震災後の受注量が想定を下回る見込みであること及びタイの洪水による影響により、売上高は前回予想を下回る見込みです。収益面においては、売上高の減少に伴い前回予想を下回る見込みです。

なお、連結子会社タイアーレスティダイの浸水被害に伴う災害による損失見込み額205百万円、及び製品不具合に伴う製品保証費用見込み額1,504百万円を当第3四半期に特別損失として計上しております。

また、連結業績見通しにおける第4四半期の為替レートは、78.0円/米ドル、12.1円/元を前提としております。

平成23年11月9日に発表しました通期連結業績予想との差異は、以下のとおりです。

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	105,700	1,450	1,300	900	41.75
今回修正予想 (B)	103,000	900	550	△1,450	△67.26
増減額 (B-A)	△2,700	△550	△750	△2,350	—
増減率 (%)	△2.6	△37.9	△57.7	—	—
前期実績	99,022	3,765	3,557	1,481	68.80

参考 (今回修正予想)

		売上高	営業利益
		百万円	百万円
ダイカスト	日本	65,000	1,350
	北米	18,300	100
	アジア	13,500	△600
アルミニウム		3,800	0
完成品		2,400	50

2. サマリー情報 (その他) に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

第1四半期連結会計期間より、阿雷斯提精密模具 (広州) 有限公司は重要性が増したため、連結の範囲に含めております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	9,179	6,368
受取手形及び売掛金	20,254	23,366
商品及び製品	2,717	2,631
仕掛品	3,542	3,997
原材料及び貯蔵品	2,903	2,866
その他	1,933	2,393
貸倒引当金	△1	△1
流動資産合計	40,530	41,621
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	9,486	9,060
機械装置及び運搬具（純額）	21,318	22,193
土地	5,746	5,700
建設仮勘定	6,333	10,706
その他（純額）	3,399	3,625
有形固定資産合計	46,284	51,287
無形固定資産		
投資その他の資産	543	728
投資有価証券	6,052	4,068
その他	388	483
貸倒引当金	△1	△1
投資その他の資産合計	6,440	4,550
固定資産合計	53,268	56,566
資産合計	93,799	98,187
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	18,571	19,125
短期借入金	3,910	4,905
1年内返済予定の長期借入金	6,990	8,553
未払法人税等	364	174
賞与引当金	1,225	807
製品保証引当金	31	1,544
災害損失引当金	—	153
その他	4,682	7,428
流動負債合計	35,775	42,692
固定負債		
長期借入金	14,950	17,962
退職給付引当金	3,587	3,760
事業構造改善引当金	1,220	560
負ののれん	54	—
その他	3,803	2,973
固定負債合計	23,616	25,258
負債合計	59,391	67,950

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,117	5,117
資本剰余金	8,363	8,359
利益剰余金	24,943	22,615
自己株式	△358	△320
株主資本合計	38,066	35,771
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,680	1,143
繰延ヘッジ損益	△16	—
為替換算調整勘定	△5,404	△6,745
その他の包括利益累計額合計	△3,740	△5,602
新株予約権	81	67
純資産合計	34,407	30,237
負債純資産合計	93,799	98,187

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第3四半期連結累計期間)

(単位: 百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
売上高	74,512	74,940
売上原価	64,027	67,547
売上総利益	10,484	7,392
販売費及び一般管理費	6,926	7,282
営業利益	3,558	109
営業外収益		
受取利息	8	29
受取配当金	71	85
負ののれん償却額	82	54
その他	185	192
営業外収益合計	348	362
営業外費用		
支払利息	386	486
為替差損	165	208
その他	43	57
営業外費用合計	594	752
経常利益又は経常損失 (△)	3,311	△280
特別利益		
固定資産売却益	3	10
退職給付制度改定益	141	—
保険差益	21	—
特別利益合計	166	10
特別損失		
固定資産除売却損	61	67
事業構造改善費用	1,363	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	48	—
退職給付制度改定損	—	22
製品保証費用	—	1,504
災害による損失	—	205
その他	—	11
特別損失合計	1,473	1,810
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失 (△)	2,004	△2,080
法人税、住民税及び事業税	462	592
法人税等調整額	175	△467
法人税等合計	638	125
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失 (△)	1,366	△2,205
四半期純利益又は四半期純損失 (△)	1,366	△2,205

(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	1,366	△2,205
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△58	△537
繰延ヘッジ損益	—	16
為替換算調整勘定	△1,698	△1,341
その他の包括利益合計	△1,757	△1,861
四半期包括利益	△390	△4,067
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△390	△4,067
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

I 前第3四半期連結累計期間(自平成22年4月1日至平成22年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					合計
	ダイカスト事業			アルミニウム事業	完成品事業	
	日本	北米	アジア			
売上高						
外部顧客への売上高	50,410	11,729	8,139	2,690	1,542	74,512
セグメント間の内部売上高又は振替高	1,779	43	233	1,987	—	4,044
計	52,190	11,773	8,372	4,677	1,542	78,556
セグメント利益	1,830	1,124	539	3	70	3,569

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	3,569
セグメント間取引消去	△11
四半期連結損益計算書の営業利益	3,558

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					合計
	ダイカスト事業			アルミニウム事業	完成品事業	
	日本	北米	アジア			
売上高						
外部顧客への売上高	47,759	12,955	9,723	2,877	1,624	74,940
セグメント間の内部売上高又は振替高	2,580	9	446	1,543	1	4,582
計	50,339	12,965	10,169	4,420	1,626	79,522
セグメント利益又は損失(△)	898	△296	△530	△18	38	90

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	90
セグメント間取引消去	19
四半期連結損益計算書の営業利益	109

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。